

ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

No. 109

<https://lora-saga.jp/>

<https://lora-saga.jp/ialt/>

〒840-8502 佐賀市本庄町1 佐賀大学理工学部内 TEL/FAX : 0952-28-8712

令和6(2024)年2月27日



創立30周年記念シンポジウム

特別講演会開催

令和5年12月2日(土)に低平地研究会創立30周年記念シンポジウムが開催されました。第一部の特別講演会では、吉竹顕彰氏(気象予報士、NHK気象キャスター)をお招きし、「気候変動と気象報道」と題してご講演いただきました。

日本の気候、九州地方の気候の特徴を紹介され、近年発生した豪雨に基づいた線状降水帯のメカニズムと雨雲の発生状況について、将来の気候変動の影響などについて解説されました。また、吉竹氏が経験された防災気象報道について時系列形式で解説されました。初動対応の大切さから、刻々と変化する気象状況に応じた段階的な呼びかけまで、慎重な報道が行われている状況が紹介されました。

水災害を引き起こす気象現象の解説、防災のソフト対策としての気象報道の役割について、そして普段は接する機会がない報道までの流れについて知ることができ、会場からも多くの質問が寄せられ、盛況のうちに講演会が終わりました。



講演中の吉竹氏

創立30周年記念シンポジウム

パネルディスカッションの開催

特別講演会に引き続き、パネルディスカッションが開催されました。パネリストとして、特別講演会に引き続きご参加いただいた吉竹氏、寺尾直樹氏(国土交通省武雄河川事務所所長)、永松義敬氏(佐賀県県土整備部理事)、鈴木宏一郎氏(佐賀市副市長)、富田紘次氏(鍋島報効会理事・事務局長)を招き、大串浩一郎氏(低平地研究会運営委員長、佐賀大学教授)がコーディネートされる形式でした。

各パネリストから低平地に関わる話題がそれぞれ提供されました。パネリスト、そして会場との間で意見交換されました。



歴史・文化専門部会 史料刊行

「蓮池藩日記にみる江戸時代の風水害」

『低平地研究』32号において、伊藤昭弘「佐賀藩における風水害-佐賀藩「日記」資料時系列データベースを手がかりに-」を発表しました。本史料集には、この論文で紹介した風水害の事例にかかる史料のうち、佐賀県立図書館所蔵蓮池鍋島家文庫に伝来した「日記」資料の記事を収録しました。同じく前掲論文で検討した佐賀大学附属図書館所蔵小城鍋島文庫の「日記」資料の記事は、佐賀大学地域学歴史文化研究センターより史料集『江戸時代の災害と小城』としてすでに刊行しました（同センターで無償頒布中）。

蓮池鍋島家は佐賀藩の筆頭家格である「三家」のひとつで、佐嘉郡蓮池を拠点とし、所領は蓮池周辺の佐嘉郡・神埼郡、および藤津郡のおおよそ現在の嬉野市域にあたります。風水害に関する記事は拠点である蓮池と、城原川に近い神埼郡の村々に集中しています。『江戸時代の災害と小城』とあわせ、江戸時代における佐賀地域の風水害の実態を知ることができます。



地方創生専門部会 冊子の刊行

令和6年2月1日に「西九州新幹線議論の経過と今後 II -九州の地方創生とJR九州の再生-」と題した冊子が刊行されました。これまでの西九州新幹線に関わる議論がまとめられ、さらに物流新幹線によって期待される経済効果、利点などの構想がまとめられています。

余部が研究会にて保管されていますので、ご入り用の方は事務局までご連絡ください。



地域創生専門部会 講演会の開催

2月11日(日)に久留米シティプラザにて「西九州新幹線を久留米へ 決起集会！」と題した講演会が開催されました。

整備新幹線とは、全国新幹線鉄道整備法(昭和45年法律第71号)第7条に基づいて、昭和48年11月13日に整備計画が決定された、北海道新幹線、東北新幹線、北陸新幹線、九州新幹線・鹿児島ルート、西九州ルート(長崎ルート)の5路線を指し、西九州新幹線は整備新幹線として最後の新幹線ルートになります。

今日、佐賀県では、西九州新幹線の県内ルートについて、佐賀駅ルートか佐賀駅南ルートかという議論が国交省との間で行われています。国交省としては整備新幹線建設の経験と実績と、これからの日本経済の展望を踏まえて、新たな新幹線建設の議論としていく方針です。このような意味で、佐賀県内のルートの議論は今後の新幹線構想のための重要な議論の場といえます。そのためには、佐賀県にとっての西九州新幹線の利活用に関する諸政策(観光開発や企業誘致、工業用水の確保)の具体的提案が求められています。



環境専門部会 「世界の低平地」の案内

3月に世界の低平地シリーズの講演会を開催する予定です。詳細が決まり次第、会員の皆様へ案内いたしますので、ご参加お待ちしております。

低平地研究会 部会横断の講演会

3月27日(水)に低平地防災特別部会、基盤整備専門部会、環境専門部会の部会横断で講演会を開催します。

低平地研究 No. 33 特別号 刊行予定

記念シンポジウムの報告や特別寄稿の編成にて、30周年特別記念号(仮)が刊行される予定です。なお、通常の投稿論文も掲載予定です。

編集後記

今号の鉄道話題に続き、3月にはSL人吉引退もあります。今後はSLやまぐちのD51復活が頼みの綱ですが、それがダメだと静岡か関東でしかSLを見られませんか。遠い。

編集：三島悠一郎、後藤、武富(lora@lora-saga.jp)
巻頭写真：田原千裕(佐賀大学理工学部都市工学部門)